

知っておきたい避難所のこと 過去の災害では・・・

・「熊本地震を経験した育児中の女性へのアンケート」結果では、自宅で生活した人7割・避難所で生活した人3割でした。避難所では、車中泊も多かったようです。過去の災害では、詐欺・デマ・盗難・性犯罪などもあることを知っておいて自衛することが大事です。避難所では防犯の視点を持って、トイレは一人で行かせない。スカートや明るい色の服は要注意。防災リュックに入れる服は暗めが◎とのことです。

・在宅避難の人も、ときどき避難所へ・・・近くの避難所に届け出ると、必要な物資をもらうことができます。避難所には情報も集まるので、ときどき行ってみましょう。

防災リュックを用意しよう！

・防災グッズは、家族一緒の設定で共有し半年に一回見直しましょう。3月と9月だと季節の入れ替えに◎
・年に数回しか使わない子どもの遠足リュックを活用。両手が使えるので防災リュックとしておすすめ！
遠足のタイミングで中身を見直すと◎ その時に大人用の中身もチェックしましょう。

防災で大切なのは続けていくこと！気軽に楽しくできてうれしくなるものでなければなりません。

- ① 家庭の備蓄…連絡手段、情報収集手段としてスマホは大事！ポータブル電源、モバイルバッテリー、USBコード（3type）は、普段から持ち歩きましょう。備蓄は家の中で分散して保管。車も避難所に！ガソリンは半分になったら給油を。普段からお子さんが食べ慣れている食品やおやつ、好きなおもちゃや絵本、ゲームなどがあると安心。大変な時だからこそ、知育菓子のような楽しめるアイテムも◎。
- ② 普段の持ち物…防災ポーチを作りましょう。家族の防災カード（写真つきが◎）・保険証、母子手帳のコピー（ラミネート加工が◎）・ホイッスル・簡易トイレ・小銭・絆創膏・常備薬・生理用品・メモ帳・ペン・マスク・アルコールスプレー・携帯スプレー・モバイルバッテリー・お菓子（パウチタイプがおすすめ）おむつは、10枚ぐらいを圧縮して消臭袋へ。
- ③ トイレ対策…ひとり一日5～8回。非常用トイレセットの備えを（消臭剤、凝固剤も）。トイレは行ける時に行っておきましょう。和式トイレの使い方に慣れておくことも大事です。
- ④ 心のケア…お子さんの声に耳を傾け、話を聞いて抱きしめましょう。否定せず、共感して、短い言葉であいづちを！腰あたりをさすって温めると安心リラックス効果あり。

「子育てパパ＆ママのためのオンライン防災講座」第2弾。防災アイデア満載のお話でした。また、地域で実施している防災訓練や各種イベントは地域の実情を知る機会ですので、できる範囲で参加しましょう。物だけでなく、世代を超えたご近所の助け合いもいざという時には役立つことだと思います。



夏休み企画『防災ゲームで防災について学ぼう！』

令和5年8月11日（祝・金曜日）古川ふれあいセンター大会議室において、小学生の子どもたちや家族の皆さんと防災ゲームを使って遊びながら「防災」について学びました。

この防災ゲームは、サイコロを振って、すごろくのようにコマを進め、〇×クイズに挑戦したり、イベントカードを集めたりしながら、災害発生時にどんなことが起こるのか遊びながら「防災」について学ぶことができるように作られています。参加した子どもたちは、家の周りや避難所、災害ボランティアセンターなどで起こりうる問題について考えながらゴールを目指していました。



ゲームの後の、ツイストパン♪

防火セミナー 「高齢者を火災から守る！」

8月9日（水）石井支所会議室において、石井西地区の民生児童委員、独居高齢者みまもり員が参加し、防火セミナーを開催しました。講師に、松山市消防局 予防課 主幹（火災調査担当）消防司令の客野裕幸さんをお迎えして、火災調査から分かる予防についてお話しいただきました。

令和4年松山市の火災

火災件数・・・128件	火災で亡くなられた方は8人で、
1位 たばこ 19件	すべて住宅火災でした。
2位 たき火 16件	内訳は男性6人、女性2人で、
3位 こんろ 14件	8人中5人は65歳以上でした。
4位 放火 8件	住宅用火災警報器は7軒中、5
5位 電灯等の配線 7件	軒が未設置とのことです。



講師の客野裕幸さん

全国的にも住宅火災で亡くなる方が多いようです。令和3年の出火原因別で死者が多かったのは、たばこ・ストーブ・こんろ・電灯等の配線によるものでした。

住宅用火災警報器の設置状況

平成23年6月に住宅用火災警報器の設置は完全義務化に！令和4年6月時点の設置率は、83.3%です。10年以上経過し、電池切れや機器の故障などが心配されます。

リチウムイオンバッテリーが原因の火災

身の周りの火災では、スマートフォン・パソコン・電子たばこ・空気清浄機などが普及したことで、電気関係が原因の火災が増加！リチウムイオンバッテリーが原因の火災は、令和元年是1件でしたが、令和5年は7月末時点で5件発生しています。

リチウムイオンバッテリーは充電のできる電池ですが、濡らしたり落下や強い衝撃で、電池内部が高温になったり、内部ショートして爆発することもあるそうです。また、電動マッサージ機をパソコンのコードを使って充電中に爆発したことも！充電器は、安全機能のある正規の物で充電してくださいとのことです。今年の夏、携帯用の扇風機を利用する方を多く見かけましたが、目の届く所で充電をするようにとのことでした。ごみ収集車の中でリチウムバッテリーが爆発したこともあったそうです。

リチウムイオンバッテリーは、ごみに出すことは禁止です。販売店の回収箱に出すようにしましょう。



また、電気のコードがねじれていたり、重いものが載ったりして、負荷がかかって火災になってしまうこともあるそうです。

今回のお話で、電気火災が起こらないよう、安全性を重視した商品選びや、乱雑になっている電気コードを整理するよう深く思いました。客野さん、貴重なお話をありがとうございました。

令和4年石井地区では、12件の火災が発生したよ。
松山市で1位だって！ 普段から火災予防対策に努めようね！



はッピーカバー君